



# DAIHATSU



2017年3月14日

## ダイハツ軽乗用車「タント」、軽福祉車「タント スローパー」「タント ウェルカムシート」 予防安全性能アセスメント最高評価の JNCAP先進安全車「ASV++」を獲得



タント X“SAⅢ”



「ASV++」ロゴ

ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）が2016年11月30日に発売した、「スマートアシストⅢ」を搭載する軽乗用車「タント」と軽福祉車「タント スローパー」「タント ウェルカムシート」が、国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA<sup>※1</sup>）が実施する2016年度JNCAP<sup>※2</sup>予防安全性能アセスメントにおいて、ダイハツとしては初めて最高評価である「ASV++<sup>※3</sup>」を獲得した。

ASV++を獲得したタントの希望小売価格は1,285,200円<sup>※4</sup>~となっている。

この予防安全性能アセスメントは、安全な車社会へのニーズの高まりに対応するため、2014年度より開始された。評価は従来の「被害軽減ブレーキ（AEB S）<sup>※5</sup>【対車両】」「車線はみ出し警報（LDWS）<sup>※6</sup>」「後方視界情報<sup>※7</sup>（バックモニター等）」に加え、2016年より「被害軽減ブレーキ（AEB S）【対歩行者】」が追加され、全部で4つの装置についての試験となる。

評価点は71点が満点となっており、各評価の合計点が2点超の場合に先進安全車「ASV」、12点超の場合は先進安全車「ASV+」、さらに46点超の場合は「ASV++」に認定される。ダイハツの軽乗用車では「スマートアシストⅡ」を搭載している軽乗用車「ムーヴ」「キャスト」が2015年度評価で「ASV+」の認定を受けており、今回の2016年度評価における「ASV++」はタントが初めての認定となる。

ダイハツは今後も、スモールカーに最適な先進装備を開発し、低価格でご提供することで、より多くのお客様に安心、安全をお届けする。

※1：National Agency for Automotive Safety & Victims' Aid ※2：Japan New Car Assessment Program

※3：Advanced Safety Vehicle ++ ※4：タントX“SAⅡ”2WD車。価格は消費税込み。価格にリサイクル料金含まず。

※5：正式名称：衝突被害軽減制動制御装置（Autonomous Emergency Braking System）

※6：正式名称：車線逸脱警報装置（Lane Departure Warning System）

※7：正式名称：後方視界情報提供装置